

死亡災害が増加しています！

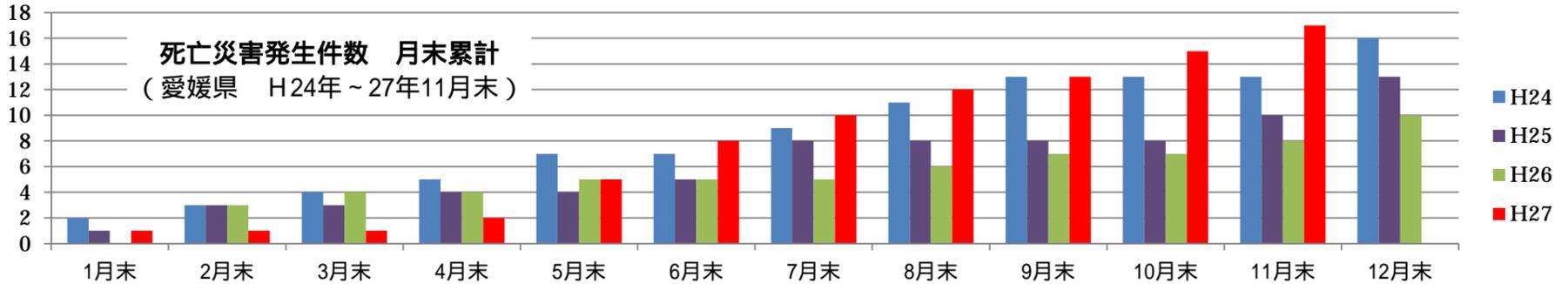
年末・年始の労働災害防止対策の積極的な推進をお願いします。

今治労働基準監督署

本年も残すところわずかとなりました。

本年の県下で死亡災害は、11月末現在で17名となっており、前年同期比で+9名、213%増と大幅に増加しています。

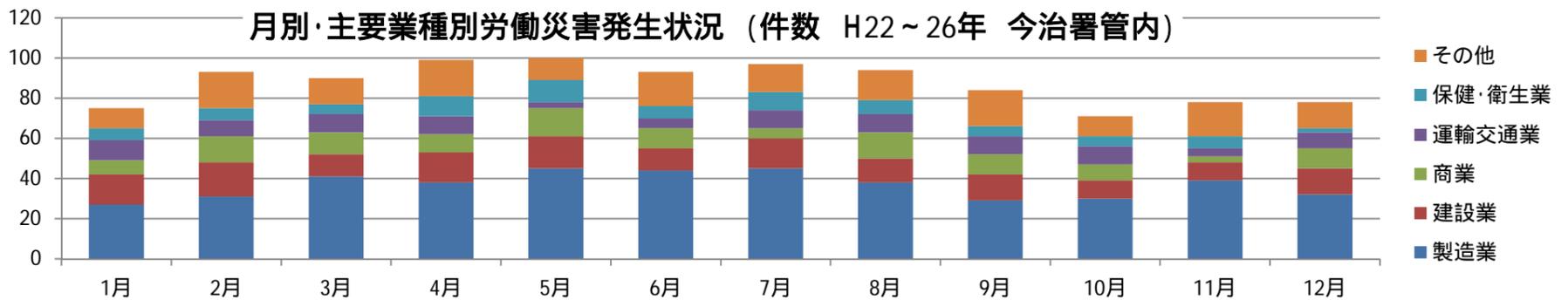
県下での平成24年から平成27年11月末現在の死亡者数を、各年の月末累計値をグラフにしたのが下図です。



今年（赤棒）は、4月末までは過去最低だった昨年を下回る推移を示していましたが、5月、6月と3名が亡くなり、以後も増加を続けています。今治署管内では、昨年は1名（8月発生）でしたが、本年は2名（7月、8月発生）が亡くなりました。県下の12月の死亡災害は、過去3年間の合計で7名が亡くなり、全体の18%を占め多発する傾向にあります。この7名とも12月16日以降の半月の間に発生しており、特に「年末の労働災害に注意」する必要があります。

今治署管内の平成22年から平成26年までの5年間の休業4日以上労働災害を、月別に取り纏めましたのでご覧下さい。

下図は発生件数を主要な業種別に積み上げたものです。



発生件数では5月が最も多く、10月が最も少ない月となっています。年末年始がある12月、1月は就労日数も少なく特に多発しているものではありませんが、全国の数値を見ると、1月～3月は月1万件を超えて多発する時期です。

今治管内の主要業種別に最も多い月を見ると、製造業は5月及び7月、建設業は2月、商業は5月、運輸交通業は1月、保健・衛生業は5月となっています。

下表は、事故の型別に発生割合(%)を、事故の型の総数の多いもの順に示したものです。(黄色塗は、事故の型毎で最も多い月を示す)

月別・事故の型別労働災害発生割合 (% H22～26年 今治署管内)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
墜落、転落	2.2	1.9	1.5	2.8	1.8	2.0	1.3	1.9	1.1	1.1	1.9	2.0	21.6
転倒	1.3	1.5	1.9	1.5	2.0	1.8	1.6	1.0	1.7	1.0	1.6	2.2	19.3
飛来、落下	0.7	1.3	1.2	1.4	1.6	0.9	1.5	1.7	1.0	0.8	1.4	0.8	14.3
はさまれ、巻き込まれ	0.7	0.9	1.2	1.1	1.2	1.0	1.4	1.3	0.7	0.6	0.8	0.8	11.7
動作の反動、無理な動作	0.7	0.8	0.9	0.6	0.9	0.9	0.5	0.5	0.4	1.0	0.6	0.4	7.9
交通事故(道路)	0.3	0.5	0.6	0.6	0.3	0.4	0.5	0.7	0.9	0.3	0.4	0.2	5.4
上記以外	1.3	2.0	1.2	1.4	1.7	1.9	2.4	1.8	2.3	1.9	0.8	1.1	19.9
総計	7.1	8.8	8.6	9.4	9.5	8.8	9.2	8.9	8.0	6.7	7.4	7.4	100.0

年末年始の12月は「転倒災害」、1月は「墜落、転落」災害が最も多くなっています。

事故の型別で最も多い月は、「墜落、転落」は4月、「転倒」は12月、「飛来、落下」8月、「はさまれ、巻き込まれ」は7月、「動作の反動、無理な動作」(主に災害性腰痛)は10月、「交通事故(道路)」は9月となっています。

今治署管内の休業4日以上労働災害は、昨年は8年ぶりに増加しましたが、本年11月末現在の労働災害は170件で、前年同期比で-9件、5%減となっているものの、「第12次労働災害防止計画」での目標値「平成24年比で9%減(平成26年比では12%減)」達成は黄色信号が点灯している状況です。

これ以上、死亡災害を発生させないためにも、改めて「年末・年始」の労働災害防止対策の積極的な取組をお願いします。

『「たぶん」「だろう」に危険がひそむ しっかり点検 年末年始』